

あいち農産物生産流通レポート

2024年12月号

	ページ
◎ 情報サロン	
令和6年度あいち食育いきいきシンポジウム	
・「～明日(Earth)につながる～ 地球に優しい暮らしを学ぶ」を 開催しました	(食育消費流通課) 1
・第76回関西茶業振興大会愛知県大会が開催されました	(園芸農産課) 2
◎ 地域トピックス	
・愛知生まれのカンキツ「夕焼け姫」を市民へPR	(知多農林水産事務所) 3
◎ 東日本情報	
・愛知県産秋冬野菜京浜地区販売会議が開催されました	(東京事務所) 4
◎ フラワーページ	
・花きの物流効率化の取組	(園芸農産課) 6
◎ 青果	
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し	10
◎ 花き	
・切花・鉢花の12月の見通し(県内市場)	22

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

令和6年度あいち食育いきいきシンポジウム

「～明日(Earth)につながる～ 地球に優しい暮らしを学ぶ」を開催しました

食育消費流通課

2024年10月21日(月)に名古屋市中小企業振興会館において、「あいち食育いきいきシンポジウム～明日(Earth)につながる～地球に優しい暮らしを学ぶ」を開催しました。

今回は講師として、第57次南極地域観測隊の調理隊員として活躍された渡貫淳子さん、名古屋文理大学で「食と農の社会学」を専門に研究されている中村麻理さんをお招きし、無駄や廃棄の少ない食事作りや、食生活と環境の結びつきなどについてお話しいただきました。

当日は、食育に関心の高い県民、看護学校や保育園で食育に携わっている栄養関係者、行政関係者等60名が参加しました。

1 講演1「南極シェフから学ぶ！食材を無駄にしないエコレシピ」

渡貫淳子氏からは、南極の生活から得られた環境に優しい暮らしの工夫について、お話いただきました。

南極に食材を持ち込めるのは、観測隊が交代する際の1年に1回であり、限りある食材を工夫して利用しており、共食から生まれるコミュニケーションは非常に重要であり、工夫次第でいくらかでも豊かに生活できることを学んだとのことでした。

また、南極にゴミを残せないのので、調理を工夫して、うどんを作った次の日は残った出汁で煮物を作り、煮物の余りは、刻んで炊き込みご飯にしていたことなど、具体的なレシピも交えてご紹介いただきました。

食材を残さず利用する知識を持つことで、無駄なく活用しようとする意識が参加者に芽生えたようでした。



2 講演2「地産地消と食育～地域から地球へ～」

名古屋文理大学のフードビジネス学科長兼地域連携センター長の中村麻理教授からは、学生と取り組んでいる食育活動や郷土料理である「鬼まんじゅう」をお土産品として日持ちするように「鬼まんマドレーヌ」として開発した取組などをご紹介いただきました。



講演後の意見交換会と質疑応答では、参加者から積極的に質問があり、会場全体でテーマについて考える充実した時間となりました。参加者からは、「食品を大切に無駄にしないよう、気を付けて毎日過ごしていこうと思った。」、「今日の講演で学んだことは、他の人々にも伝えていかないともったいない。」といった声があり、講師の知識や理念を実践したり、周知したりしていく意欲が高まったようでした。

このシンポジウムをきっかけに、環境に配慮した生活を築くきっかけとなることを期待します。

第76回関西茶業振興大会愛知県大会が開催されました

園芸農産課

関西茶業振興大会は、関西茶業の振興を図るため東海・関西6府県（愛知県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、奈良県）で順番に開催している伝統あるお茶の大会です。

76回目を迎える大会を今年度、愛知県で開催しました。

1 関西茶品評会

茶の栽培技術を向上させるため、関西6府県の茶産地の新茶を一堂に集めて出来映えを競う品評会が2024年7月31日（水）から8月2日（金）にかけて行われました。各産地から、てん茶（抹茶の原料）を始めとした5茶種371点の出品がありました。今年は、2月までの暖冬で、一番茶が記録的に早くなると予想した産地も多かった中、3月には低温により茶芽の生育の遅れや生育差が目立ち始め、4、5月は日照不足や降雨により摘み遅れる等、天候に翻弄された年となりました。こうした中、出品された茶はそれぞれの茶種の特徴を備えた、見事な逸品が多く出品されました。

農研機構の佐藤茶業研究領域長を審査長に迎え、関西6府県から推薦された審査員による厳正な審査の結果、1等20点、2等36点、3等50点の入賞が決まりました。



外観審査



滋味審査

2 関西茶業振興大会愛知県大会式典

関西茶品評会において優秀な成績を収めた出品者を表彰するため、11月16日（土）に西三河農業協同組合事務センターにおいて、大会式典を開催しました。

式典では、大会長である大村知事から受賞者を代表して、てん茶の部で最優秀であった、有限会社不老園 小林晋弥氏へ大会会長賞が授与されるとともに審査成績で最優秀の市町村に対して産地賞が授与されました。

また、1等入賞者には、農林水産大臣賞を始めとした特別賞が授与されました。

今年は、天候不順等により茶生産に係る総合的な知識や技能が例年以上に求められる中、数多くの優秀なお茶を出品いただきました生産者や関係者の皆様方の熱意と努力に心から敬意を表す次第です。



大会会長賞の授与



愛知生まれのカンキツ「夕焼け姫」を市民へPR

知多農林水産事務所

東海市が産地化を進めている「夕焼け姫」の出荷が今年度から始まることから、2024年11月3日（日）に「東海秋まつり 2024」内で開催された「農業フェスティバル」において、PRブースが設置され、市民へのお披露目と試食会が開催されました。

1 東海市における「夕焼け姫」の取組

「夕焼け姫」は愛知県が育成した品種で、夕焼けのような赤橙色の美しい外観と甘みが強くほどよい酸味が特徴です。古くからみかん生産が盛んな東海市では、「夕焼け姫」の苗木の供給が開始されると同時に作付けを始めました。令和2年には「マルチ栽培夕焼け姫部会」が発足、東海市立農業センターにおいても試験栽培が始まり、新たな特産品として産地化・ブランド化へ向けた取組が行われています。苗木やマルチシート等の購入補助など、市を挙げて「夕焼け姫」の産地化に乗り出しており、試験ほ場近くの船島小学校では授業の一環として、同校児童による栽培管理、収穫作業等が行われています。

また、東海市は県の「夕焼け姫」ブランド化チーム構成員でもあり、シンボルマークやPRグッズを活用したプロモーションにも力を入れています。



開始直後から行列のPRブース



夕焼け姫の特徴を説明

2 試食会における「夕焼け姫」への期待と反応

当日、PRブースは開始直後から行列となり、市担当者、生産者、県農業改良普及課担当者が、「夕焼け姫」の特徴、市を挙げてのブランド化への取組などを説明しました。また、多くの人に従来品種との違いを試食で実感してもらい、「濃厚で美味」であるとの感想をいただきました。「どこで買えるのか」「箱買いしたい」「贈答用にしたい」といった声も多く、舌の肥えたみかん産地の市民からも期待されていることを実感しました。

3 今後の取組等

「夕焼け姫」は11月中旬から下旬に収穫と出荷の最盛期を迎えます。

今年度は産直販売が中心の見込みですが、生産量が増える来年度には市場出荷が本格化し、量販店へも出回る予定です。

愛知県産秋冬野菜京浜地区販売会議が開催されました

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

本県産秋冬野菜の本格出荷シーズンを前に、令和6年11月12日（火）にアリスアクアガーデン品川（東京都品川区）において、「令和6年度愛知県産秋冬野菜京浜地区販売会議」（主催：JAあいち経済連東日本営業所）が開催されました。

会議には、関東及び東北の卸売会社23社と、これら卸売会社に出荷している県内3JA等が参加し、今冬から来春の出荷計画や産地動向、生産資材高騰対策の報告等が行われました。

1 JAあいち経済連の令和6年度の青果販売取組

会議では、生産、販売、物流、消費喚起の多岐に渡る取組方針が示されました。

各取組の具体策としては、下記の内容が計画されています。

取組方針	取組の具体策
生産	○末端顧客と結びついた相対取引や契約取引の拡大 （事前出荷情報の活用による週間及び日々の相対取引の拡大等）
販売	○産地での商品化(※)による販売力強化と産地振興の実践 （実需者の商品加工ニーズ〔差別化・省力化〕への対応、簡易選別やバラ集荷による生産者の出荷調製作業の軽減等）
物流	○生産・出荷・物流コスト低減に繋がる出荷規格の検討・導入 （販売及び輸送実態に合わせた量目の変更等） ○物流の2024年問題への対応 （JA・品目別集荷時間や配荷業務の見直し、消費地・産地のストックポイント〔配送のための一時保管を主とする流通拠点〕の活用等）
消費喚起	○加工・業務用需要の取引拡大 （キャベツ、たまねぎ、おおばの業務向け取引の拡大） ○主要品目の需要喚起策の実践 （食べ方提案を主とした販売促進の実施等）

※JAあいち経済連の西三河地域及び東三河地域青果物パッキングセンター等で実施。



JAあいち経済連東日本営業所が開催した秋冬野菜販売会議

2 秋冬野菜の生産出荷計画、産地動向

JAあいち経済連からキャベツ、はくさい、トマト、ミニトマト、ブロッコリー等の各品目の生産出荷計画の説明が行われた後、JAひまわり、JA愛知みなみ、JA豊橋から品目ごとに各産地の動向が報告されました。

主な動向としては、秋冬野菜の多くの品目で夏期の高温により播種や定植が遅れた又は遅らせた、ブロッコリーでは9月の高温の影響で生育が緩慢傾向である、キャベツやはくさいでは害虫防除に苦慮している等が伝えられました。また、トマトとミニトマトでは、夏期の高温の影響で小玉傾向が顕著である、11月は着果処理が切り替わる影響で、一時的に出荷量が減少する見込みである、夏期の高温傾向に対応するため新品種の試作や切り替え等を進めている等の状況となっています。

3 市場動向

市場関係者から、主要な品目について市場動向が報告されました。

品目	市場動向
キャベツ	千葉県産、茨城県産、愛知県産の販売が中心となります。千葉県産と茨城県産は、出荷開始が10日前後遅れて数量は少なく推移しましたが、11月中旬以降は増量して例年並みの出荷が見込まれます。今後は売り込みの強化を図り、年末年始を見据えての販売をお願いします。
はくさい	長野県産がほぼ終了し、茨城県産が中心となっていますが、茨城県産は猛暑・干ばつの影響のため生育が停滞気味で出荷開始が2週間程度遅れており、11月中旬以降に増量する見込みです。茨城県産は、昨年に続き、過剰生産が予想されます。
トマト	11月に入って西南暖地産が徐々に増加傾向にあります。昨シーズンは12月下旬から出荷量が増加し、市場に荷物が滞留したため相場が急激に下落しました。今シーズンは、昨シーズンのようなことがないように11月から売場の拡大を図っていく必要があります。
ミニトマト	10月中旬頃から西南暖地産を中心に出荷が出揃い、高値の反動や売場の縮小もあって厳しい販売状況となっています。昨年は、出荷見通しが不透明で売り込みしづらく、年末年始と年明け以降1月末まで市場に荷物が滞留した状況での販売が続いたので、今年は精度の高い情報を共有して、年末年始と年明け以降の円滑な販売に繋がりたいです。
洋菜類	非結球レタスは、関東産地は夏期高温の影響で生育遅延が発生しましたが、その後の天候回復で前進傾向の出荷となり、例年より出荷終了が早まる見込みです。また、九州産地産は11月下旬から出荷が本格化する見込みです。 ブロッコリーは、夏型の産地からの出荷終了が早く、秋冬産地は高温の影響で品質不良や生育遅れが生じているため、価格は高騰していますが、12月以降は出荷が安定すると見込まれます。 洋菜類の作付面積は、どの品目も現状維持か微減となっています。
豆類	夏期高温と台風等の降雨の影響で、生育は例年よりも1週間から10日程度遅れています。夏型の産地が高温により不作だったため、量販店の売場は縮小傾向となっていますが、今後は売り込みの強化を図り、徐々に販路を拡大したいです。

4 生産資材高騰対策

J Aあいち経済連が主要品目を対象に生産費を算出した結果、販売単価を10%程度上げないと生産者の営農が継続できないことが報告されました。本年も、営農の継続が可能で且つ需給バランスに左右されない価格形成の実施に取り組むこととしています。

本会議では、産地と市場の関係者間で秋冬野菜の動向や課題等の共通認識が醸成されました。今後、本県産秋冬野菜の販売が活発に行われることが期待されます。

花きの物流効率化の取組

園芸農産課

本県の花き産出額は573億円（2022年）で61年連続日本一です。また、本県産花きの仕向け先別出荷割合は、県内が22%、県外が78%となっており（2022年、園芸農産課調べ）、全国各地へ出荷されています（図1）。

トラックドライバーの長時間労働是正のため、2024年度から時間外労働の上限規制が適用され、花き業界でも物流の効率化に取り組む必要があります。そこで、2023年度にJAあいち経済連が行った物流の効率化に資する取組を紹介します。

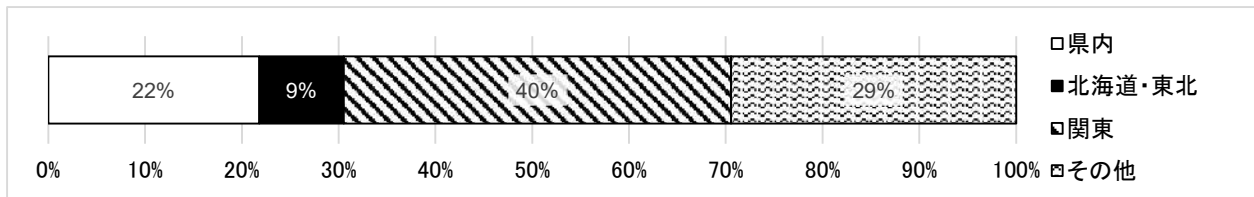


図1 花きの仕向け先別出荷割合（2022年）

1 取組の概要

事業名	持続的生産強化対策事業（ジャパンフラワー強化プロジェクト推進）
事業年度	2023年度
取組主体	JAあいち経済連
事業費	23,159,467円
事業内容	花き受発注システムを活用した業務効率化の実証
試験産地	JA愛知みなみ（輪ギク）、JA西三河（デルフィニウム）

<取組の背景>

花きの売上の安定的な確保には、数量と価格を予め決める相対取引の比重を高めることが重要です。しかし、JAが市場や実需者に注文内容（数量、価格）を伝達する手段は、FAXや電話が基本となっており、1件ごとに調整する必要があることから、受発注業務に時間がかかっていました。

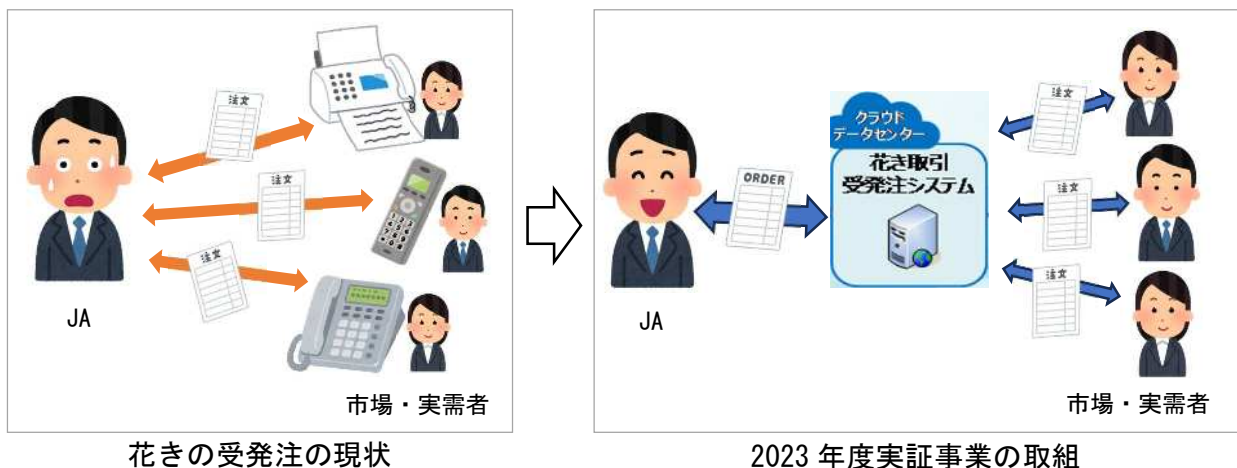


図2 花きの受発注の現状と2023年度実証事業の取組

<取組結果と効果>

産地と取引先間における受発注情報を一元化できる花き受発注システムを開発・導入し、輪ギク及びデルフィニウムの受注とりまとめ業務の効率化について実証を行いました。

システムでは、JAが入力した商品情報（図3）が市場へ伝達され、その情報に基づき市場が発注を行います（図4）。各市場が発注したデータをシステム上で集計するので、大幅な時間短縮につながります。

輪ギクではこれまで1日あたり50～60社からの受注を週3回取りまとめしていましたが、このシステムを導入したことにより、週当たり7.5～9時間を削減することができました。また、デルフィニウムでは、1回の受注につき30分かかっていた集計業務を5分に短縮することができました。

商品情報入力										
JA		部会		販売日						
愛知みなみ		輪ギク部会		2024/04/23(火)						
検索										
1 2										
新規	出品	品目	色	商品	等級	階級	入数	口数	精算基準単価	商品備考
○	☑	キク	白	異花の白優	秀	2L	160	0	80	
○	☑	キク	白	異花の白優	秀	L	200	0	70	
○	☑	キク	白	異花の白優	秀	M	200	0	65	
○	☑	キク	白	異花の白優	秀	S	200	0	50	
○	☑	キク	白	異花の白優	優	2L	160	0	70	
○	☑	キク	白	異花の白優	優	L	200	0	60	
○	☑	キク	白	異花の白優	優	M	200	0	50	
○	☑	キク	白	異花の白優	優	S	200	0	40	

図3 商品情報入力画面

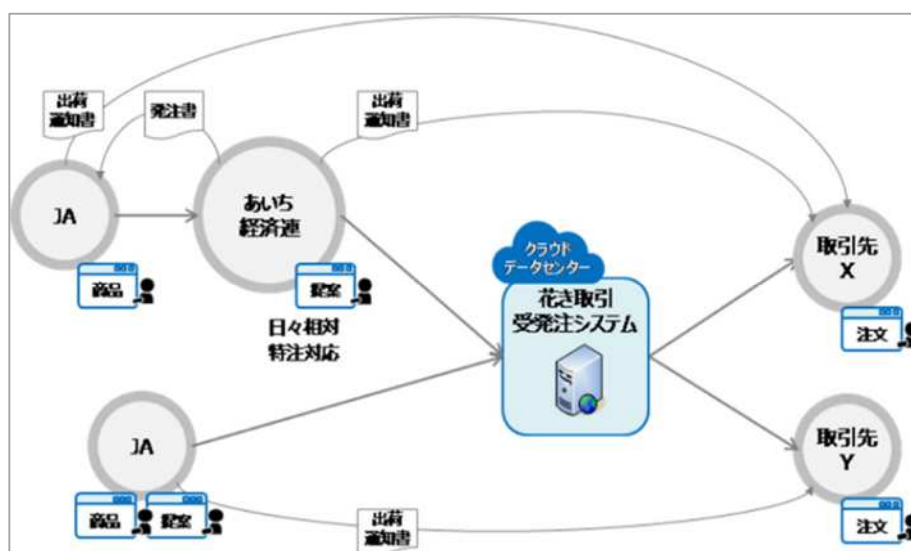


図4 受発注システムの流れ

<令和6年度以降の取組>

引き続き品目や取引先を拡大しながら実証を行い、規模を拡大しても受発注業務の効率化が確認できるか調査しています。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下
 わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：れんこん）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
				愛知産	
2023年実績	2,404	1,366 (57%)	371	396	愛知(57%) 茨城(42%) 熊本(1%)
2024年見通し	2,200	—	380	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
秋の高温の影響により、例年出荷量が伸びる10月に消費が減退し、厳しい販売だった。各産地の作柄が前年より悪いため、12月の年末需要に向けて価格は堅調な見込み。 【見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△8.5%) 価 格：前年をわずかに上回る。(2.4%)			高齢化による農家戸数の減少が続くが、作付面積の維持をお願いしたい。鍬掘、水掘れんこんは量販店等のニーズを把握したうえで、戦略的な作付をお願いしたい。		

○ 東京都中央卸売市場（品目：サニーレタス）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)		前年主要産地 (上位3産地)
				愛知産	
2023年実績	10,559	337 (3%)	313	366	長野(47%) 茨城(22%) 福岡(11%)
2024年見通し	10,000	—	320	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
高温の影響により一部ほ場では初期に生育の遅れが散見されたものの、各産地とも大きな天候被害は無いため、順調な出荷が見込まれる。 価格は、需要期であるクリスマスや年末の引き合いが強まるため、相場の上昇が見込まれる。 【見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.3%) 価 格：前年をわずかに上回る。(2.2%)			全国的に作付面積は横ばいから微増である中で、品質の高い（ボリューム感がある、着色が良い）愛知県産を指定する顧客が一定数いる状況である。 選ばれる産地であり続けるためには、品質維持と安定供給が求められているので、これらの取組とともに、精度の高い出荷予定の情報発信にも引き続き努めてほしい。 また、愛知県はプロモーションやPRに対して積極的な産地のため、引き続き付加価値を高める施策と一緒に考案していきたい。		

名古屋・東京市場における青果物の12月の見通し

名古屋中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

11月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格は円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	36,094	205	201	199	207	北海道 28%
	2020年	38,925	183	167	169	205	愛知 23%
	2021年	36,334	219	203	211	239	茨城 14%
	2022年	39,311	203	176	202	232	千葉 4%
	2023年	35,505	225	213	232	245	熊本 4%
	5ヵ年平均	37,234	207	—	—	—	
	2024年見通し	35,100	245	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 夏場の猛暑等による果菜類、葉茎菜類の生育遅れは、気温の低下とともに回復傾向だが、品目によっては不足感は続き、高値が継続する。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.1%) 価格：前年をかなり上回る。(8.9%)						
だいこん	2019年	1,883	69	74	70	71	千葉 56%
	2020年	2,116	66	55	60	86	愛知 20%
	2021年	1,883	64	57	61	79	神奈川 9%
	2022年	2,143	72	62	69	94	静岡 7%
	2023年	1,990	75	77	79	76	鹿児島 4%
	5ヵ年平均	2,003	69	65	68	82	
	2024年見通し	2,000	76	70	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 千葉は年末の安値を避けるため、年末の計画を減らしているが、暖冬で消費が伸び悩む可能性がある。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.5%) 価格：前年並。(1.3%)						
にんじん	2019年	2,090	120	118	124	115	愛知 77%
	2020年	2,364	101	100	87	122	北海道 6%
	2021年	2,466	95	94	103	98	千葉 5%
	2022年	2,408	109	120	110	105	岐阜 5%
	2023年	2,036	127	132	133	134	大分 4%
	5ヵ年平均	2,273	110	112	110	114	
	2024年見通し	1,950	130	130	130	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 愛知、岐阜は高温と台風の影響による生育遅れがあり、12月から本格出荷となるが、入荷量は平年を下回る見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.2%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.4%)						

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	2019年	1 2 9, 5 2 8	2 4 2	228	242	255	千葉 21%
	2020年	1 2 7, 8 6 4	2 1 1	184	199	248	茨城 20%
	2021年	1 2 3, 1 1 0	2 3 9	221	227	267	北海道 12%
	2022年	1 2 5, 4 4 6	2 3 8	200	233	287	愛知 7%
	2023年	1 2 0, 6 7 8	2 5 7	242	254	272	神奈川 5%
	5カ年平均	1 2 5, 3 2 5	2 3 7	—	—	—	
	2024年見通し	1 2 5, 0 0 0	2 6 0	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 夏期高温の影響が残る一部品目（きゅうり、ピーマン等）は入荷が少ない見込み。下旬は年末需要で相場は底上げとなる。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(3.6%) 価格：前年並。(1.2%)						
だいこん	2019年	1 1, 8 0 9	6 7	66	63	72	千葉 61%
	2020年	1 0, 7 1 7	6 3	46	50	89	神奈川 36%
	2021年	1 0, 7 7 8	6 0	46	52	77	徳島 1%
	2022年	1 0, 9 7 9	6 6	51	59	91	茨城 1%
	2023年	1 0, 8 8 5	7 0	67	69	72	静岡 1%
	5カ年平均	1 1, 0 3 4	6 5	55	59	80	
	2024年見通し	1 1, 0 0 0	7 5	70	70	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 千葉を中心に入荷する。千葉産は中旬以降に漸減する一方、神奈川産は上旬から漸増する。出荷サイズはL、2L中心となる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(1.1%) 価格：前年をかなり上回る。(7.1%)						
にんじん	2019年	8, 0 8 0	1 4 1	144	136	144	千葉 84%
	2020年	8, 9 8 8	1 1 5	108	107	130	埼玉 7%
	2021年	8, 5 6 7	1 0 3	88	97	122	香川 3%
	2022年	8, 5 9 1	1 1 8	106	114	135	茨城 2%
	2023年	8, 2 5 0	1 3 8	137	134	142	中国 1%
	5カ年平均	8, 4 9 5	1 2 3	116	117	134	
	2024年見通し	7, 7 0 0	1 4 5	140	145	150	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	【産地状況】 千葉を中心に入荷する。千葉産はMサイズ中心、次いでLサイズとなる。出荷遅れは概ね回復する。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△6.7%) 価格：前年をやや上回る。(5.1%)						

名古屋市中央卸売市場

11月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	2019年	3,803	66	69	63	67	茨城 74%
	2020年	4,217	43	36	40	53	愛知 17%
	2021年	4,061	47	47	45	51	三重 6%
	2022年	3,961	60	54	51	74	岐阜 1%
	2023年	3,955	58	55	57	61	宮崎 1%
	5ヵ年平均	3,999	55	52	51	61	
2024年見通し	3,800	100	100	100	100	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 夏場の高温の影響により出荷が不安定であったが、12月は生育回復し、重量ものってくる見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.9%) 価格：前年を大幅に上回る。(72.4%)</p>						
キヤベツ	2019年	3,427	67	66	70	68	愛知 81%
	2020年	4,029	65	53	62	80	茨城 14%
	2021年	4,070	56	55	53	63	静岡 2%
	2022年	4,286	71	59	73	86	三重 2%
	2023年	3,749	79	81	84	74	熊本 1%
	5ヵ年平均	3,912	67	62	68	75	
2024年見通し	3,700	120	120	120	120	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
ツ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 夏場の天候不良で生育遅れがあり、出荷ムラがある見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△1.3%) 価格：前年を大幅に上回る。(51.9%)</p>						
ほうれんそう	2019年	270	601	566	638	602	愛知 36%
	2020年	301	443	311	480	596	茨城 34%
	2021年	291	500	498	487	520	岐阜 11%
	2022年	299	470	364	487	673	群馬 10%
	2023年	263	503	490	513	507	静岡 3%
	5ヵ年平均	285	501	442	519	581	
2024年見通し	220	600	600	500	700	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
そう	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 11月までの高温により、軟弱徒長気味。愛知は作付減及び虫害により、出荷は平年より少ない見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(△16.3%) 価格：前年を大幅に上回る。(19.3%)</p>						

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろく	2019年	15,879	54	57	52	54	茨城 91%
	2020年	16,416	30	24	27	37	群馬 6%
	2021年	15,358	34	36	32	33	和歌山 1%
	2022年	15,327	42	39	39	48	埼玉 1%
	2023年	15,064	44	39	48	46	
5ヵ年平均	15,609	41	39	39	44	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	14,500	60	55	60	65		
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 茨城を中心に入荷する。茨城産は高温・干ばつによる生育遅延から回復し生育順調。下旬は年末需要で引き合いは強まる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.7%) 価格：前年を大幅に上回る。(36.4%)</p>						
キャベツ	2019年	13,998	70	70	74	67	愛知 45%
	2020年	13,235	63	49	58	82	千葉 34%
	2021年	13,992	56	54	50	63	神奈川 10%
	2022年	13,335	69	56	70	87	茨城 9%
	2023年	13,583	79	86	85	68	群馬 1%
5ヵ年平均	13,629	67	63	67	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	13,500	105	100	105	110		
ほうろく	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 愛知、千葉等を中心に入荷する。高温・干ばつによる生育遅延は中旬以降に回復基調となる。下旬は年末需要が高まる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.6%) 価格：前年を大幅に上回る。(32.9%)</p>						
ほうろく	2019年	1,324	605	584	631	602	群馬 44%
	2020年	1,607	423	314	385	581	茨城 36%
	2021年	1,485	457	455	423	494	千葉 6%
	2022年	1,609	455	346	430	632	栃木 6%
	2023年	1,736	425	435	443	401	埼玉 6%
5ヵ年平均	1,552	468	421	457	538	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	1,750	490	480	460	530		
ほうろく	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 群馬、茨城を中心に入荷する。各産地とも生育順調。前年並の入荷が見込まれ、下旬は年末需要が高まる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.8%) 価格：前年をかなり上回る。(15.3%)</p>						

名古屋市中央卸売市場

11月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	1,248	378	389	368	382	長野 25%
	2020年	1,165	382	330	357	450	大分 16%
	2021年	1,240	361	340	336	402	静岡 10%
	2022年	1,211	383	340	363	451	群馬 8%
	2023年	1,089	431	402	413	462	愛知 6%
5ヵ年平均	1,191	386	360	366	428	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	1,000	450	450	450			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 各産地夏場の高温により、生育が遅れ、年内出荷は平年より少ない。愛知の越津ねぎも平年より少ない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△8.2%) 価格：前年をやや上回る。(4.4%)</p>					
しそ	2019年	1,800	219	208	237	217	兵庫 32%
	2020年	1,918	151	114	151	193	愛知 17%
	2021年	1,785	194	141	184	258	熊本 15%
	2022年	2,013	190	132	183	284	静岡 12%
	2023年	1,472	234	224	246	236	茨城 7%
5ヵ年平均	1,798	195	160	198	238	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	1,700	200	180	200	220		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 生育期の天候不順により、出荷は不安定。クリスマスから年始に需要が伸びる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり上回る。(15.5%) 価格：高値だった前年をかなり下回る。(△14.5%)</p>					
きゅうり	2019年	997	490	425	479	561	愛知 50%
	2020年	1,163	335	286	339	382	宮崎 22%
	2021年	1,143	344	374	403	367	鹿児島 14%
	2022年	966	454	340	428	624	高知 10%
	2023年	972	411	351	373	523	群馬 2%
5ヵ年平均	1,048	402	354	402	484	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
2024年見通し	900	530	500	480	600		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 各産地定植後の気温が高く、徒長で根の張りが悪く、年内の出荷は少ない見込み。クリスマスから年始に需要が伸びる。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△7.4%) 価格：前年を大幅に上回る。(29.0%)</p>					

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	2019年	6, 224	348	371	331	343	茨城 24%
	2020年	5, 947	356	320	316	421	千葉 20%
	2021年	6, 086	299	275	270	342	埼玉 15%
	2022年	6, 405	326	302	304	368	栃木 11%
	2023年	5, 916	414	431	394	416	群馬 9%
	5ヵ年平均 2024年見通し	6, 116 5, 900	348 350	339 330	323 350	377 370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 茨城、千葉等を中心に入荷する。入荷量は12月から漸増し、本格出荷は中旬以降となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.3%) 価格：前年をかなり下回る。(△15.5%)</p>						
しめじ	2019年	7, 614	223	213	244	214	静岡 32%
	2020年	6, 941	144	104	142	180	香川 14%
	2021年	6, 595	195	139	182	257	茨城 13%
	2022年	6, 962	187	122	179	277	長崎 11%
	2023年	6, 308	237	226	247	237	兵庫 10%
	5ヵ年平均 2024年見通し	6, 884 6, 100	197 400	161 410	199 380	232 410	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
しめじ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 静岡、香川等を中心に入荷する。入荷量は関東産の終了で上旬は少ないが、中旬以降に漸増する。下旬は年末需要が高まる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.3%) 価格：前年を大幅に上回る。(68.8%)</p>						
きゅうり	2019年	3, 887	546	481	538	614	宮崎 47%
	2020年	4, 505	346	298	349	581	千葉 15%
	2021年	4, 532	334	307	306	397	高知 12%
	2022年	3, 887	496	346	473	711	埼玉 10%
	2023年	4, 079	442	356	393	594	群馬 8%
	5ヵ年平均 2024年見通し	4, 178 4, 100	427 480	354 460	407 480	574 500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)				単価(円/Kg)
	<p>【産地状況】 宮崎、千葉等を中心に入荷する。一部産地でコナジラミ類や黄化えそ病が発生しているが、前年並の入荷量を見込む。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.5%) 価格：前年をかなり上回る。(8.6%)</p>						

名古屋市中央卸売市場

11月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	2019年	345	448	448	458	446	熊本 61%
	2020年	383	398	398	401	399	愛知 37%
	2021年	347	414	430	431	411	高知 3%
	2022年	372	375	368	373	393	
	2023年	372	384	409	378	370	
5ヵ年平均		364	403	410	407	403	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し		380	400	360	360		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 11月に出荷が少なかった分、12月に出荷がずれ込む見通し。荷動きが芳しくない時期での増量になり、販売は苦戦する。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.2%) 価格：前年をやや下回る。(△3.6%)</p>						
ト	2019年	956	331	389	321	290	熊本 48%
	2020年	1,006	287	276	289	298	愛知 22%
	2021年	845	381	407	363	374	三重 15%
	2022年	894	354	362	345	355	岐阜 12%
	2023年	896	363	444	367	303	大分 3%
5ヵ年平均		919	341	373	335	322	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し		850	360	400	360	340	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 各産地安定出荷となるが、熊本を中心に作付が減少しており、平年に比べ少ない入荷となる見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△5.1%) 価格：前年並。(△0.8%)</p>						
ミ	2019年	464	559	670	516	507	熊本 60%
	2020年	531	456	445	449	477	愛知 35%
	2021年	509	585	557	579	621	宮崎 3%
	2022年	589	537	620	495	487	和歌山 2%
	2023年	516	553	609	546	510	
5ヵ年平均		522	537	579	516	519	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し		530	500	500	500		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 各産地ともに本格的に数量が増加する。熊本を中心に作付けが増加しており、販売は苦戦する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに上回る。(2.7%) 価格：前年をかなり下回る。(△9.6%)</p>						

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	2019年	1, 759	516	534	535	479	高知 63%
	2020年	1, 888	462	451	477	461	福岡 19%
	2021年	1, 853	443	461	446	420	熊本 11%
	2022年	1, 803	410	393	417	424	佐賀 2%
	2023年	1, 898	426	437	417	422	栃木 2%
	5ヵ年平均 2024年見通し	1, 840 1, 900	451 460	454 460	458 480	441 440	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 高知を中心に入荷する。夏期の高温や10月の天候不順の影響が懸念されるが、前年並の入荷量を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.1%) 価格：前年をかなり上回る。(8.0%)							
ト マ ト	2019年	5, 051	381	432	376	336	熊本 43%
	2020年	4, 830	342	329	346	351	愛知 17%
	2021年	4, 478	452	473	425	457	栃木 16%
	2022年	4, 545	412	417	402	417	千葉 7%
	2023年	4, 674	415	498	427	344	静岡 5%
	5ヵ年平均 2024年見通し	4, 716 4, 200	399 480	429 480	394 480	379 480	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 熊本、愛知等を中心に入荷する。高温で着果不良が多発した果房の収穫が過ぎ、数量の回復を見込む。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△10.1%) 価格：前年をかなり上回る。(15.7%)							
ミ ニ ト マ ト	2019年	2, 104	554	667	532	469	熊本 42%
	2020年	1, 949	453	429	444	486	愛知 20%
	2021年	1, 862	627	589	632	662	宮崎 11%
	2022年	2, 148	554	607	518	529	千葉 10%
	2023年	2, 019	569	638	570	514	静岡 7%
	5ヵ年平均 2024年見通し	2, 016 2, 000	551 600	588 670	538 600	530 530	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)		単価(円/Kg)			
【産地状況】 熊本、愛知等を中心に入荷する。高温で着果不良が多発した果房の収穫が過ぎ、数量の回復を見込む。小玉傾向も回復する見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.9%) 価格：前年をやや上回る。(5.4%)							

名古屋市中央卸売市場

11月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	393	447	377	443	561	鹿児島 58%
	2020年	450	322	327	325	369	宮崎 27%
	2021年	433	344	349	368	391	高知 13%
	2022年	350	457	408	450	575	茨城 1%
	2023年	396	390	381	408	445	
	5ヵ年平均	404	388	366	395	462	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	365	416	380	480	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 不安定な入荷が継続するが、下旬にかけて徐々に安定する見込み。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△7.8%) 価格：前年をかなり上回る。(6.7%)							
白菜	2019年	3,010	85	88	86	80	北海道 65%
	2020年	2,963	141	138	140	143	長崎 35%
	2021年	2,630	219	220	220	218	
	2022年	2,963	122	123	119	120	
	2023年	2,870	127	127	129	119	
	5ヵ年平均	2,887	137	137	137	134	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	2,500	145	145	145	145	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 北海道は貯蔵品からの計画出荷。長崎は定植時の高温等の影響で不作傾向。 【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△12.9%) 価格：前年をかなり上回る。(14.2%)							
たまねぎ	2019年	7,743	72	76	75	71	北海道 98%
	2020年	7,993	71	74	73	70	中国 1%
	2021年	6,555	150	150	155	147	兵庫 1%
	2022年	8,757	93	89	102	93	
	2023年	7,152	132	132	169	164	
	5ヵ年平均	7,640	101	102	112	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	7,500	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
【産地状況】 北海道は貯蔵品からの出荷。中生の生育不良による出荷計画の下方修正を受けて、価格は強含みの可能性。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや上回る。(4.9%) 価格：高値だった前年並。(△1.5%)							

東京都中央卸売市場

11月30日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	2019年	1, 510	484	410	457	614	宮崎 40%
	2020年	1, 793	364	322	362	411	茨城 32%
	2021年	1, 765	356	337	363	368	鹿児島 14%
	2022年	1, 586	487	403	475	644	高知 13%
	2023年	1, 749	403	375	417	418	千葉 1%
	5ヵ年平均	1, 681	415	367	412	484	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	1, 700	500	510	480	510	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)					単価(円/Kg)
【産地状況】 宮崎、茨城等を中心に入荷する。入荷量は上旬に盛期となるが、宮崎は根張りが良くないため、全体として大きな増加はない。 【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.8%) 価格：前年を大幅に上回る。(24.1%)							
ばれいしょ	2019年	8, 855	87	90	86	86	北海道 78%
	2020年	8, 572	142	138	143	144	長崎 21%
	2021年	6, 877	214	211	212	218	
	2022年	7, 994	121	120	118	125	
	2023年	7, 542	119	125	116	116	
	5ヵ年平均	7, 968	134	134	132	135	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	7, 200	150	130	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)					単価(円/Kg)
【産地状況】 北海道を中心に入荷する。北海道産は、男爵は大玉傾向で数量がやや多い一方、メークインは小玉傾向で少ない。 【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△4.5%) 価格：前年を大幅に上回る。(26.1%)							
たまねぎ	2019年	9, 495	78	77	78	76	北海道 92%
	2020年	9, 929	76	75	76	77	中国 6%
	2021年	8, 942	182	184	182	181	兵庫 1%
	2022年	9, 500	108	108	108	108	佐賀 1%
	2023年	7, 148	192	196	194	185	
	5ヵ年平均	9, 003	123	123	123	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	2024年見通し	7, 200	140	150	150	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		数量(t)					単価(円/Kg)
【産地状況】 北海道を中心に入荷する。10月末に収穫は終了し、入荷量は11月より少ない見込み。やや小玉傾向でL中心となる。 【概況見通し】 入荷量：前年並。(0.7%) 価格：前年を大幅に下回る。(△27.1%)							

名古屋市中央卸売市場

11月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	10,487	380	319	402	411	静岡 18%
	2020年	10,272	383	343	414	409	フィリピン 16%
	2021年	9,091	429	381	462	459	和歌山 13%
	2022年	11,000	384	343	422	412	愛知 11%
	2023年	9,406	477	420	524	495	岐阜 8%
	5ヵ年平均	10,051	409	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
実計	2024年見通し	8,000	500	—	—	—	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、かき等が主な品目となる。青森のりんごは輸出ギフト需要により市場向けの出荷が少ない。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△14.9%) 価格：前年をやや上回る。(4.8%)</p>				
み	2019年	4,885	270	245	271	305	静岡 40%
	2020年	5,049	236	237	226	246	和歌山 28%
	2021年	4,518	272	257	272	291	愛知 19%
	2022年	4,466	251	236	243	279	長崎 4%
	2023年	4,026	321	285	322	353	熊本 4%
	5ヵ年平均	4,589	268	251	265	293	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
か	2024年見通し	3,200	330	330	330	330	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 夏場の高温やカメムシの吸汁被害により出荷量が平年より少ない産地が多い。11月も気温が高く、着色がかなり遅れている。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年を大幅に下回る。(△20.5%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.8%)</p>				
い	2019年	401	2,169	1,695	2,437	2,414	愛知 58%
	2020年	536	1,979	1,820	2,015	2,067	熊本 30%
	2021年	386	2,374	2,039	2,315	2,695	鹿児島 7%
	2022年	452	2,177	1,806	2,202	2,576	福岡 2%
	2023年	464	2,463	2,388	2,412	2,604	佐賀 2%
	5ヵ年平均	448	2,221	1,950	2,262	2,451	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ち	2024年見通し	430	2,500	2,400	2,500	2,600	
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>【産地状況】 九州は夏場の高温の影響で、出荷遅れや品質低下が予想される。小粒傾向のため、パック数は伸びない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をかなり下回る。(△7.3%) 価格：前年並。(1.5%)</p>				

東京都中央卸売市場

11月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	2019年	52,865	418	371	436	442	愛媛 28%
	2020年	52,001	429	406	453	443	和歌山 12%
	2021年	48,026	461	419	477	480	長崎 10%
	2022年	49,583	455	402	485	482	熊本 9%
	2023年	46,646	528	475	572	533	青森 8%
	5ヵ年平均	49,824	457	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	45,000	540	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 みかんを中心にりんご等が入荷する。夏期高温の影響による日焼け果などにより、りんご、かき等出荷量減の見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をやや下回る。(△3.5%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.3%)</p>						
みかん	2019年	32,824	284	275	284	290	愛媛 40%
	2020年	32,449	280	277	282	279	和歌山 17%
	2021年	30,806	291	281	296	294	長崎 16%
	2022年	29,295	296	285	299	303	熊本 11%
	2023年	30,205	329	307	335	340	静岡 10%
	5ヵ年平均	31,116	296	285	299	301	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	29,500	337	325	340	345		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 愛媛、和歌山、長崎等から入荷し、LM中心となる。夏期高温の影響による日焼け果などにより出荷量は減少する見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年をわずかに下回る。(△2.3%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.4%)</p>						
いちじ	2019年	2,178	2,252	1,739	2,301	2,538	栃木 54%
	2020年	2,755	2,077	1,954	2,040	2,164	福岡 13%
	2021年	2,300	2,315	1,887	2,270	2,661	茨城 10%
	2022年	2,371	2,281	1,944	2,250	2,593	静岡 9%
	2023年	2,620	2,436	2,450	2,421	2,444	長崎 4%
	5ヵ年平均	2,445	2,269	2,007	2,252	2,467	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
2024年見通し	2,600	2,500	2,500	2,450	2,550		
いちじ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>【産地状況】 栃木、福岡等から入荷する。定植時期の高温の影響により主要産地の定植は遅れるも、出荷量に大きな影響はない見込み。</p> <p>【概況見通し】 入荷量：前年並。(△0.8%) 価格：前年をわずかに上回る。(2.6%)</p>						

切花・鉢花の12月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月3日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	2019年	2, 3 4 8	5 5	
		2020年	1, 6 4 8	5 5	
		2021年	2, 1 9 8	6 0	
		2022年	2, 0 3 8	6 7	
		2023年	1, 8 3 6	7 1	
	5カ年平均		2, 0 1 4	6 1	
2024年見通し		1, 8 5 0	6 5		
概要		愛知、沖縄、三重から入荷。上旬は入荷量少なく推移し、強い相場の見込み。中旬以降は入荷量も増えてくるが、年末需要に向けて価格安定し、動きも良い見込み。			
小 ぎ	実 績	2019年	2, 0 7 9	3 3	
		2020年	1, 7 2 6	3 1	
		2021年	1, 9 5 8	3 2	
		2022年	1, 6 3 8	3 8	
		2023年	1, 9 5 8	3 2	
	5カ年平均		1, 8 7 2	3 3	
2024年見通し		1, 7 0 0	4 0		
概要		沖縄中心の入荷。夏場の暑さの影響を受け、生育が良くない状況であるが、中旬以降は予約相対も始まり、入荷量は伸びてくる見込み。ピークは23～25日販売が見込まれる。			
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	2019年	1, 4 2 7	4 0	
		2020年	9 7 6	3 5	
		2021年	1, 3 1 7	4 8	
		2022年	1, 1 3 1	5 0	
		2023年	1, 1 7 5	5 0	
	5カ年平均		1, 2 0 5	4 5	
2024年見通し		1, 1 5 0	5 0		
概要		愛知、輸入が中心。朝夕の冷え込みにより、暖地の軟弱さが少しずつ解消され、しまった物が出てくる。大きな波はなく、平年よりわずかに少ない入荷となる見込み。			
か す み	実 績	2019年	1 7 0	8 9	
		2020年	1 3 1	7 0	
		2021年	1 9 1	9 2	
		2022年	1 6 8	9 4	
		2023年	1 6 6	1 1 0	
	5カ年平均		1 6 5	9 2	
2024年見通し		1 6 0	1 1 0		
概要		和歌山、高知、熊本から入荷。定植後の気温高から短径開花となっており、枝のカスミソウの入荷は多くなさそう。年末は極端に減少することなく推移する見込み。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2019年	346	193	
		2020年	229	189	
		2021年	308	226	
		2022年	280	233	
		2023年	295	230	
	5カ年平均		292	215	
	2024年見通し		280	230	
概要	高知、宮崎、埼玉、新潟、鹿児島からの入荷。オリエンタルは10,11月の気温高により前進気味の出荷となっている。今後の冷え込みにもよるが、年末需要期より早めにピークを迎える可能性がある。				
洋らん	実績	2019年	546	105	
		2020年	301	106	
		2021年	422	144	
		2022年	359	149	
		2023年	395	150	
	5カ年平均		405	130	
	2024年見通し		400	150	
概要	高知、鹿児島、静岡、愛知の国内産、輸入品が入荷。コショウランは年末に向け、輸入、国産ともに増加。カトレアは大きな山なく、平年並。デンファレは前年より入荷は増加、下旬にかけ引き合いも強くなる。オンシジウムは前年より減少気味に推移。シンビジウムは国産品が徐々に増加するが、高温が続いた影響で下位等級が多め。下旬にかけて全般に引き合いが強くなる。				
ばら	実績	2019年	595	94	
		2020年	497	87	
		2021年	674	108	
		2022年	607	107	
		2023年	759	89	
	5カ年平均		626	97	
	2024年見通し		650	90	
概要	愛知、岐阜、三重、輸入が入荷。平年よりやや多い入荷を見込むが、11月後半の冷え込みにより抑制がかかる可能性がある。クリスマスが週中(水曜)ということで消費動向が読みづらい。				
枝	実績	2019年	2,952	56	
		2020年	3,873	57	
		2021年	2,789	85	
		2022年	3,783	72	
		2023年	3,924	70	
	5カ年平均		3,464	67	
	2024年見通し		3,700	70	
概要	茨城、兵庫、愛媛、和歌山、静岡及び長野から年末商材が入荷する。年末用の雪柳は昨年より順調な出荷となりそう。桜は平年通り。ボケの「舞姫」は順調だが、「あかね」は不調となっている。高温が続き休眠が不十分で、年末に開花が間に合うか懸念される。獣害で枝折れも多い。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	2019年	10,380	944	
		2020年	10,076	1,098	
		2021年	11,044	1,186	
		2022年	9,280	1,422	
		2023年	9,216	1,195	
	5ヵ年平均		9,999	1,164	
	2024年見通し		9,000	1,111	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少か。円安の影響は大きく、輸入原木高騰で作付が減少しており、大鉢(10号)が特に減少し、8号以下がメインとなる。5号、6号での生産は変わらない傾向となる見込み。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(73.6%)、2位鹿児島(6.7%)、3位沖縄(6.1%)となっている。</p>				
シヤコバサ	実績	2019年	12,271	443	
		2020年	8,436	469	
		2021年	10,193	485	
		2022年	10,000	480	
		2023年	10,208	508	
	5ヵ年平均		10,222	476	
	2024年見通し		9,800	510	
概要	<p>入荷量はやや減少か。高温で開花が早まっており、12月上旬の出荷分が11月末に前倒しとなる。5号中心の出荷になり、6号以上が品薄になる見込み。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(60.8%)、2位愛知(38.9%)、3位新潟(0.3%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	2019年	540,423	415	
		2020年	427,062	448	
		2021年	422,530	459	
		2022年	489,355	392	
		2023年	464,176	403	
	5ヵ年平均		468,709	422	
	2024年見通し		450,000	450	
概要	<p>入荷量は6号は減少、5号以下は前年並か。販売に関しては年々6号は厳しく、単価が下がってきているが、1、2入共に@2,500-1,800クラスの引き合いが強くなる見込み。5号は3、4入@1,300-1,200の良品、5入@800-600クラスの引き合いが強くなる。ガーデンシクラメンは12月に入ると良品が少なくなるので、早めの注文が必要。</p> <p>前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(27.0%)、2位群馬(20.6%)、3位岐阜(9.8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	2019年	86,602	2,262	
		2020年	83,647	2,267	
		2021年	71,306	2,594	
		2022年	78,898	2,394	
		2023年	60,015	2,481	
	5カ年平均		76,094	2,387	
	2024年見通し		60,000	2,467	
概要	<p>入荷量は前年並か。夏の猛暑により良品が少なく、出荷できる商品が減っている。開花も遅れているので、12月上旬のギフト需要期に品薄感が出そう。しかし、開花が遅れている分、年末までは出荷は潤沢にある見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(63.3%)、2位三重(6.8%)、3位徳島(6.2%)となっている。</p>				
カランコエ	実績	2019年	17,678	208	
		2020年	17,762	244	
		2021年	18,759	252	
		2022年	15,234	234	
		2023年	12,798	292	
	5カ年平均		16,446	244	
	2024年見通し		12,000	292	
概要	<p>入荷量はかなり減少か。高温障害の影響が若干残っており、減少の見込み。4号鉢を中心に中値安定で推移すると思われる。中旬以降は年末年始売りの需要が見込まれ、4号、6号の定番商品と各サイズの八重咲き種中心に品薄の見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(56.1%)、2位埼玉(38.8%)、3位熊本(3.3%)となっている。</p>				
パンジー	実績	2019年	465,569	44	
		2020年	413,893	40	
		2021年	394,867	50	
		2022年	382,297	42	
		2023年	345,688	63	
	5カ年平均		400,463	47	
	2024年見通し		335,000	60	
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。作付け減少、開花待ちや11月前倒し出荷傾向から良品商品不足が予想される。価格は平年並か高値傾向の見込み。 前年12月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(24.8%)、2位奈良(23.5%)、3位三重(11.3%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.618
2024年12月発行
農業水産局農政部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434